

行政報告

第2回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

はじめに、令和7年度各会計の出納閉鎖による決算見込みについて申し上げます。

一般会計は、1億9,097万9千円の繰越しとなりました。

歳入は、令和8年度への繰越明許費分を除いた予算に対して6,827万4千円の減となりましたが、町税は予算に対し2,739万1千円の増となり、歳出は、繰越明許費分を除いた実質の不用額は2億5,886万9千円となっております。

後期高齢者医療特別会計は、497万8千円の繰越しとなりました。

国民健康保険特別会計は、保険給付費などの減により3,802万4千円の繰越しとなりました。

介護保険特別会計は、介護保険給付費などの減により5,856万6千円の繰越しとなりました。介護保険給付費に係る交付金等は翌年度に精算されることから、精算額が確定しだい議会へ補正予算を提案いたします。

土地区画整理事業特別会計は、56万円の繰越しとなりました。

ガス事業会計は、年間ガス販売量が前年度対比2万立方メートル減の16万9千立方メートルとなり、ガス価格激変緩和対策事業費補助金を併せてもガス売上は800万円の減収となりました。

事業収支では、経費の節減に努めて若干の改善はありましたが、原料費等の経費が高止まりしていることから1,037万9千円の当年度純損失となっております。

この当年度純損失を前年度繰越欠損金4億7,857万6千円に加えますと、当年度未処理欠損金は4億8,895万5千円となります。

水道事業会計は、年間給水量が前年度と比較して1万7千立方メートル増の66万4千立方メートルとなりましたが、1月から3月までの基本料金の減免により給水収益は841万円の減収となりました。

事業収支では、経費の節減等に努めておりましたが1,629万7千円の当年度純損失となっております。

公共下水道事業会計は、年間処理量が前年度と比較して2万2千立方メートル増の36万5千立方メートルとなり、下水道使用料は347万9千円の増収となりました。

事業収支では、経費の節減等に努めておりましたが5,971万9千円の当年度純損失となっております。

この当年度純損失を前年度繰越欠損金5,670万6千円に加えますと、当年度未処理欠損金は1億1,642万5千円となります。

病院事業会計は、前年度と比較して入院患者数は16.0パーセントの減少となり、入院収益は345万4千円の減収となりました。外来患者数は2.0パーセントの増加となり、外来収益は487万2千円の増収となりました。

支出では、前年度と比較して医業費用が3,943万5千円の増加、医業外費用は49万6千円の減少となっております。

事業収支では、一般会計から4億2,900万円の補助金を繰入れたものの5,583万9千円の当年度純損失となり、この当年度純損失を前年度繰越欠損金5億3,932万1千円に加えますと、当年度未処理欠損金は5億9,516万円となります。

なお、各会計の詳細につきましては決算上程の際に関係資料を提出いたします。

次に、町長の職務代理者の設置について申し上げます。

3月9日から私が入院加療するため、法令等に則り職務代理者を設置しておりましたが、4月30日をもって終了し、5月7日から勤務を再開しております。

次に、ふるさと納税について申し上げます。

長万部町まちづくり基金条例による、ふるさと納税の令和7年度の取組といたしまして、新たな寄附受付サイトの登録、返礼品掲載画像・文言の見直し、ふるさと納税関連イベントへの参加による新規寄附者の開拓やリピーター対策、インターネット広告や関東圏でのチラシ折込などを行ってまいりましたが、当町の主力返礼品でありますホタテ加工品の一部について、在庫の確保が困難な状況が続いていること、原材料の高騰による寄附単価の見直しなどが影響し、令和7年度の寄附状況は、14,403件、2億9,304万円となり、前年度と比較して約5,018万円の減となりました。

引き続き、返礼品事業者との調整や協力を仰ぎながら、町の魅力発信や返礼品等のさらなる充実を図るとともに、町を応援してもらうための取組を継続し、ふるさと納税による寄附の拡大を目指してまいります。

また、地方創生応援税制に基づく令和7年度の企業版ふるさと納税につきましては、本町に関わりのある企業に対して、PRパンフレットの送付や町ホームページによる周知を実施したことなどにより、17件、510万円、物品寄附として2件、115万円相当の寄附実績となりました。今後も積極的な広報活動により、幅広く募集してまいります。

次に、北海道新幹線関係について申し上げます。

5月26日、北海道新幹線建設促進期成会の活動として、北海道知事、札幌市長をはじめ関係自治体の首長とともに、国土交通省佐々木副大臣に対して直接要望を行いました。本町からは、北海道新幹線整備に伴う自治体負担の重さについて現状を強く訴えるとともに、沿線地域の持続的な発展のためにも早期開業に向けた一層の取組を求めたところであります。

同じく26日、国土交通省五十嵐鉄道局長に対し、新幹線貨物構想及び長万部町への貨物ターミナル駅誘致に関する本町独自の要望活動を行い、翌27日には鉄道・運輸機構の綿貫理事に対して同様の要望を行いました。さらに同日、国会議員に対する要望活動として、向山淳衆議院議員、高橋はるみ参議院議員、岩本剛人参議院議員、長谷川岳参議院議員に本町の取組について説明を行い、実現に向けたご理解とご協力をお願いしてきたところであります。

今後とも、我が町の将来を見据え、北海道新幹線の着実な整備促進、貨物機能の確保及び本町への貨物ターミナル駅誘致の実現に向け、関係機関と連携しながら、あらゆる機会を捉えて要望活動を展開してまいります。

新幹線建設工事につきましては、地上部の明かり区間の工事はすべての区間で橋梁・高架橋等の工事を施工中で、長万部駅高架橋では、ふれあい大橋上空の桁の架設を完了し、ほかの平里高架橋他や花岡高架橋では橋脚工事までを既に完了しており、工程が順調に進んでいるとの報告を受けております。

次に、土地区画整理事業について申し上げます。

4月21日に第1回土地区画整理審議会を開催し、委員のみなさまに委嘱状を交付したところであります。

今後は審議会のご意見を踏まえながら、事業の着実な推進に努めてまいります。

次に、地域おこし協力隊について申し上げます。

4月1日付けで新たに2名の隊員を採用いたしました。両名は酪農業及び乳製品の六次産業化に取り組みながら、本町への定住を目指しております。

引き続き、隊員の活動を支援しながら、地域の活性化につなげてまいります。

次に、老人福祉関係について申し上げます。

80歳以上の高齢者や心身に重度の障害を持つ方が、社会参加や日常生活の中で、タクシーを交通手段の一つとして容易に利用できるよう料金の一部を助成しておりますタクシーチケットは、4月3日から役場窓口で、9日には国縫・中ノ沢・双葉・静狩の各会館に出向き交付を行いました。5月末までの対象件数は643件で、交付件数は533件、約83パーセントの交付率であります。

また、配付いたしましたタクシーチケットについて、100円券及び10円券それぞれ3枚多く配付しておりますが、そのままご使用いただいて差し支えないこととしております。

60歳以上の高齢者を対象とした町内温泉施設の入浴料金助成事業は、タクシーチケットと同日に受付を開始しており、5月末までの対象件数は2,319件で、交付件数は949件、約41パーセントの交付率であります。

次に、児童福祉関係について申し上げます。

さかえ保育所の本年度の入所児童数は、定員60名に対し23名となっており、一時保育事業の4月の利用は3名、小学校低学年児童受入事業の利用は4名で延べ37日間、保育所に併設している地域子育て支援センターは、延べ26組で65名の親子の利用となっております。

放課後児童健全育成委託事業の学童保育所「ななかまど」は、現在、小学1年生4名、2年生6名、3年生1名、5年生1名の計12名の入所となっております。

また、認定こども園の「長万部マリア幼稚園」は、利用定員40名に対し31名、認可保育所の「いずみ保育園」は、利用定員42名に対し31名の入園となっております。

次に、生活環境関係について申し上げます。

令和7年度の本町のごみ収集総量は1,812トンで、前年度と比較して約59トン減少いたしました。

渡島廃棄物処理広域連合に排出した可燃ごみの量は1,570トンで、前年度と比較して約28トンの増となっております。

ごみ減量化の取組としては、小型家電の無料回収ボックスを役場庁舎内に設置しているほか、廃食用油については各会館等において無料回収を実施しております。また、衣類については各地域における年2回の巡回無料回収に加え、役場窓口でも随時無料回収を行っております。

今後のごみの減量には、町民一人ひとりの意識と行動が欠かせないため、ごみの分別排出にもご協力いただくよう一層の啓発に努めてまいります。

次に、ごみ処理施設「クリーンおしま」の火災について申し上げます。

町内で収集した一般廃棄物（可燃ごみ）は、豊津地区のリレーポート山越を經由して、北斗市のごみ処理施設「クリーンおしま」で焼却処理を行っておりますが、4月29日早朝、同施設で火災が発生しました。火災は5月4日に鎮火しましたが、現在も原因及び施設の被害状況について調査が進められております。

この火災の影響により、リレーポート山越での可燃ごみ受入が困難となりましたが、町内のごみ収集を通常どおり実施するため、4月29日から民間産業廃棄物処理業者の敷地を借り上げ、町内で収集した可燃ごみの仮置きを開始しております。

5月15日からは、ごみ焼却の代替処理先として北部桧山衛生センター組合に受け入れていただくこととなり、せたな町北檜山区に所在する焼却施設へ収集したごみの一部の運搬を開始しております。

なお、リレーポート山越への個人の直接持ち込みは、現時点では排出される可燃ごみ全量の代替処理先確保に至っていないことから、引き続き受け入れを休止しております。

「クリーンおしま」の復旧には相当の期間を要する見込みであり、リレーポート山越への直接持ち込み休止についても長期化する可能性があることから、各家庭におかれましては、資源ごみの分別徹底や生ごみの水切りなど、より一層のごみ減量化にご協力くださいますようお願いいたします。

町民のみなさまにはご不便とご迷惑をおかけしておりますが、今後とも安定したごみ処理体制の維持に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

次に、農業関係について申し上げます。

飼料作物である牧草につきましては、4月及び5月の平均気温が例年に比べて高く推移し、5月15日現在の作況では、適度な降雨と気温により生育は順調に進んでおります。また、サイレージ用とうもろこしについても同様の理由から播種作業、生育ともに順調に推移しております。

牧野事業では、足腰の強い優良な後継牛の育成や生産コストの低減と酪農経営の安定を目的に、公共牧場の運営事業を行っておりますが、入牧予定牛の事前検査やワクチン投与等を行いながら、牧場内での牛ウイルス性下痢等感染防止に努めております。

入牧状況は、町内酪農家の育成牛は5月1日に共立牧場へ225頭、5月7日に蕨岱牧場へ108頭を入牧いたしました。共立牧場は、入牧頭数に余裕があるため、本年度も豊浦町及び洞爺湖町の酪農家の育成牛の預託を受け入れ、5月29日に126頭の入牧が終了し、町営牧場2か所の合計で459頭の利用をいただいております。

また、公共牧場及び畜産農家において、植生改善による良質な自給飼料生産に不可欠な草地更新や暗渠排水整備等による農地の機能向上のため、本年度も道営草地整備事業を予定しております。

農業生産額につきましては、生乳生産実績は、1月から4月までで2,838トン、乳代は3億2,197万円となり、前年同月と比較して生乳生産量は96トンの減、乳代では412万円の増となっております。

また、黒毛和牛の1月から4月までの販売頭数は62頭、販売金額は5,076万円となり、前年同月と比較して販売頭数は8頭の減、販売金額では472万円の増となっております。

次に、有害鳥獣駆除対策について申し上げます。

有害鳥獣駆除対策は、長万部町鳥獣被害防止対策協議会が中心となり、関係機関と連携を図りながら、効果的な被害防止対策を実施しております。ヒグマや近年個体数が急増しているエゾシカ、特定外来生物であるアライグマなどが林業や農業へ被害をもたらしていることから、総合的に対処するため、本年度も引き続き「鳥獣被害防止対策事業」を同協議会に委託し、ハンターによる巡回の徹底や有害鳥獣駆除業務を実施し、被害防止対策の強化を図っております。

今後も関係機関と連携を図り、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律等に基づき、人畜被害を防止するため適切な処置を実施してまいります。

次に、林業関係について申し上げます。

森林環境保全整備事業の森林環境保全直接支援事業で実施している富野地区の植栽事業4.27ヘクタールは、4月27日に着工し、5月28日に完成しております。

次に、漁業関係について申し上げます。

基幹産業であるホタテ貝養殖漁業は、令和7年度の生産量は約10,279トンで、前年度と比較し3,148トンの減となりましたが、生産額では57億5,846万円となり、前年度と比較して9億2,462万円の増となっております。この要因は、ホタテ貝の単価が値上がりしたためと考えられます。

渡島北部地区水産技術普及指導所が、2月に長万部町海域のホタテ稚貝の生育等を調査した結果、正常貝は約93パーセントで、例年並の生育状況となっておりますが、引き続き各関係機関の調査を注視してまいります。

次に、商工観光労政関係について申し上げます。

地域経済は、不安定な国際情勢や長期化する物価高騰により、厳しい状況が続いており、今後の経営不安の解消と事業経営の安定化を図るため、中小企業特別融資資金の貸付けを関係機関と連携して実施しております。

観光振興では、引き続き長万部町、豊浦町、黒松内町の3町連携「はしっこ同盟」による広域連携事業を中心とした活動・取組を一層強化してまいります。

また、長万部観光協会では、JR長万部駅構内に設置している観光案内所「インフォまんべ」を拠点に、町の観光情報を発信するとともに、積極的な観光客の誘致に努めております。さらに、町を訪れる多くの観光客のみなさまへ長万部温泉や二股ラジウム温泉、飲食店の紹介をはじめ町内の観光情報を提供しております。

次に、建設関係について申し上げます。

土木事業では、橋りょう長寿命化計画に基づき、工事は上国縫橋修繕工事を10月30日まで、丸山橋修繕工事を令和9年2月26日までの工期で施工しており、調査設計業務は東橋改修設計業務を10月30日まで、橋りょう点検調査業務を令和9年1月29日までの工期で実施しております。

公園関係では、あやめ公園パークゴルフ場は4月10日に、長万部公園キャンプ場は、4月22日にオープンしております。

その他、町道、河川、町営住宅の維持補修等につきましては、計画的に実施しております。

次に、水道事業について申し上げます。

上水道配水管路・仕切弁点検管理業務委託は、令和9年3月31日までの工期で実施しております。

次に、公共下水道事業について申し上げます。

長万部町公共下水道汚水管路維持管理業務委託は、令和9年3月31日までの工期で実施しております。

次に、教育関係について申し上げます。

長万部高等学校制服購入費補助は、新入学生の保護者24人から申請があり、155万6,236円を4月27日に委任払いにより制服納入業者に支出しております。また、長万部高等学校通学費補助は、国縫、八雲町及び森町の通学者6名から申請があり、88万8,460円の支給を予定しております。

国公立大学生及び東京理科大学生に対する奨学金の給付や貸付けは、国公立大学生1名から申請があり、奨学金運営委員会を開催し奨学金の決定をしております。

次に、消防関係について申し上げます。

5月末現在の火災件数は、建物火災が2件ありました。このほか4月16日に八雲町で発生した林野火災に対して応援出動しております。

救急件数は155件で、急病が78件、交通事故が7件、一般負傷が17件、その他転院搬送などが53件、ドクターヘリによる搬送は2件となっております。

火災予防の事業では、春の全道火災予防運動期間中、署員による防火広報、女性消防団員による啓発物品の配布を行いました。

消防団につきましては、7月17日に北海道消防学校で開催される北海道消防操法訓練大会出場に向け、連日訓練を実施しております。

終わりに、本定例会に提案した議案は、条例の一部改正、財産の取得、各会計補正予算など29件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。